

設計図書等に関する回答書

令和元年7月10日

二本松市長 三保 恵一
(公印省略)

下記のとおり回答いたします。

記

- 1 工事（業務）番号 元教第12号
- 2 工事（業務）名 小浜中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事
- 3 質問事項及び回答事項

質問事項	回答事項
<p>①切抜設計図書の頁0-0024 工種明細表 発生材処理の中でとりこわし材運搬費で運搬物によって補正係数(K)がコンクリート類は1.27、木材類は0.33、石コウボード類は0.44ですが、ガラス・陶器くず、廃プラスチック、金属くず、繊維くず、アスベストくず(非飛散性)の各々の補正係数(K)を教えてください。</p> <p>②切抜設計図書の頁0-0022 工種明細表 撤去工事の中で、カーテン撤去 暗幕 186 m²と載っていますが、この撤去材はどの部類(たとえば繊維くず)に分類されますか。又撤去暗幕 186 m²は何m³ですか。又撤去暗幕の積込み・運搬・処分料金は内訳のどの項目に含まれるのか教えてください。</p> <p>③切抜設計図書の頁0-0024 工種明細表 発生材処理の中で、積込み 金属くず 人力 7.9 m³、とりこわし材運搬費 金属くず 11.8 m³と載っています。この数量の差 11.8 m³-7.9 m³=3.9 m³はどの箇所の撤去数量ですか。又数量差 3.9 m³分は積込み 人力 3.9 m³を計上すべきだと思います。</p> <p>④とりこわし材運搬費は、積込みが人力の場合はこわし材運搬費はダンプトラック 2t 積車で計上してよいですか。切抜設計図書の頁0-0040 施工内訳表 とりこわし材運搬費</p>	<p>①工事積算基準に明記されておりませんが、各種別については下記と同等の補正係数とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.27同等：ガラス・陶器くず、金属くず ・0.33同等：廃プラスチック ・0.44同等：繊維くず、アスベストくず（非飛散性） <p>②撤去部類、積込み、運搬及び処分の分類は廃プラスチックとします。</p> <p>撤去数量は0.18562m³で積算しております。</p> <p>③撤去数量差3.9m³は電気工事分の撤去数量となります。</p> <p>頁0-0028で積込みまで計上しております。</p> <p>④工事積算基準では、ダンプトラック車10tが基準となります。</p>

<p>V2395 アスベストクズ(非飛散性)の内訳明細がとりこわし材運搬費 コンクリート類バックホウ 0.8 m³積込の場合 1 m³と載っていますが、この場合運搬車はダンプトラック 10t積車で計上すべきですか。</p> <p>⑤切抜設計図書の頁 0-0040 施工内訳表 積込み V2394 アスベストクズ(非飛散性) 人力の内訳明細が 積込み ボード・木材類 人力バックホウ 0.8 m³積込の場合 1.0 m³と載っていますが、積込みは人力で計上するのか、バックホウ 0.8 m³積込で計上するのかどちらですか。(※工種明細表 頁 0-0024 では積込みは全て人力で計上してあります。)</p>	<p>⑤人力で計上しております。</p>
---	----------------------

事務取扱／総務部 財政課 契約係
Tel 0243-55-5082 (直通)